

2008 年 6 月 19 日、BMW ミュージアムがオープン

ミュンヘン発 (2008 年 3 月 3 日) 着工以来 2 年半、2008 年 6 月 19 日に BMW ミュージアムが新たにオープンします。外装および内装のリニューアルにともない、展示スペースは従来の 5 倍にあたる 5000 平方メートル以上に拡張しました。新たなコンセプトのもと再スタートしますが、通称「ミュージアム・ボウル」の名で親しまれているシンボルは顕在です。これは 1973 年にウィーン出身の世界的に著名な建築家カール・シュヴァンツァー (Karl Schwanzner) によって手がけられたユニークな建築物です。ミュンヘンのドイツ本社に隣接する BMW ミュージアムは、BMW ヴェルト・エクスペリエンス・アンド・デリバリー・センター (BMW Welt Experience and Delivery Center) や BMW 工場の見学とともにユニークなブランド体験ができるスポットとなります。ミュージアムの一般公開は完成記念式の 2 日後、6 月 21 日からです。

ブランド・ミュージアム

生まれ変わった BMW ミュージアムは企業力と革新力の歴史的な変遷や、モータースポーツを含めたこれまでの活動を紹介する、ブランドを直接体験できるミュージアムです。BMW のブランドが過去から現在、そして未来に向けてどのように発展してきたを見ることができます。主な展示品は BMW 製品の歴史を彩ったクルマたち BMW R 32、BMW 507、さらに往年の名車、BMW 2002 などです。120 以上の展示品はコンセプトカー、レーシング・モデルそれに市販車を網羅しており、BMW ブランドを雄弁に物語る証しです。展示テーマはデザイン、エンジン、広告、空気力学やモータースポーツなど、多岐にわたる内容となっています。また、特別な展示技術は新しいミュージアムのコンセプトに相応しいものとなっております。「BMW はここで再び新たなトレンド生むでしょう。心躍るエキサイティングな方法でクルマと企業の歩みを結びつける、という今までにない試みに乗り出したのです。一言で表せば、BMW ミュージアムは人の心を捉える情熱を表現する場と言えます。」と、BMW Mobile Tradition 責任者である Karl Baumer は述べています。

建築デザイン

隣接した低層ビルへの拡張によって、BMW ミュージアムの展示スペースは従来に比べ 5 倍の広さになりました。設計者カール・シュヴァンツァーの建築理念はリニューアルされた空間の中でさらに際立ちます。室内には、道路や広場に加えて、橋や住宅も登場します。主題は都市建築であり、自動車社会の主要要素でもって形づくられる一種の「交通複合施設」です。